

# 福島第一原子力発電所2号機原子炉格納容器 ガス管理システムの気体のサンプリング結果について

平成24年2月7日  
東京電力株式会社

【試料採取場所】2号機原子炉格納容器ガス管理システム入口

【試料採取日時】平成24年2月6日(月) 12:34

【測定結果】

核種	放射性物質濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	検出限界値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	半減期	
ガスバイアル瓶	I-131	検出限界未満	$1.3 \times 10^{-1}$	約8日
	Cs-134	検出限界未満	$3.3 \times 10^{-1}$	約2年
	Cs-137	$5.4 \times 10^{-1}$	$3.8 \times 10^{-1}$	約30年
	Kr-85	検出限界未満	$2.6 \times 10^1$	約11年
	Xe-131m	検出限界未満	$2.9 \times 10^0$	約12日
	Xe-133	検出限界未満	$2.5 \times 10^{-1}$	約5日
	Xe-135	検出限界未満	$1.0 \times 10^{-1}$	約9時間

短半減期Xeはいずれも検出限界未満。  
再臨界判定基準の1Bq/cm<sup>3</sup> (Xe-135) を超えない。

【参考】1号機の未臨界確認については、ガス管理システム内に設置された放射線検出器により直接排気ガス中のXe-135の放射能濃度を測定し、再臨界判定基準の1Bq/cm<sup>3</sup>を超えていないことを確認している。  
(2月6日 Xe-135測定値:  $(1.6 \sim 2.6) \times 10^{-3}$  Bq/cm<sup>3</sup>)